

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月13日作成

事業番号			担当課等		水道課						
事務事業名	配水管整備事業										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P96 ゆがわら2022プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	II 持続可能な生活環境の構築	9 上下水道	(1) 上水道事業の推進	① 上水道の整備
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン				
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
目的	配水機能の適正な維持と漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図る。				
対象	湯河原町上水道区域の受水者				
内容	老朽化した配水管を毎年定期的・計画的に布設更新する。 また、漏水等により早急な対応が必要な箇所についても随時対応する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	2,805,200	2,742,400	2,892,800	
		会計年度任用職員等	1,237,932	1,270,914	1,241,678	
		人件費合計	4,043,132	4,013,314	4,134,478	
		総事業費	51,211,132	58,832,914	54,745,478	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	39,200,000	44,100,000	41,100,000	
		その他特定財源				
		一般財源	12,011,132	14,732,914	13,645,478	
		財源合計	51,211,132	58,832,914	54,745,478	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
工事箇所数		配水管布設工事	路線	7	5	7

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	水道法の規定により町(水道事業者)が実施するものである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	老朽化した配水管を定期的・計画的に更新することで、漏水等の事故に未然に防ぐことができ、水道水の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	漏水等の事故に対する未然防止と水道水の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原町上水道事業給水区域全域が対象であるため、受益の機会が均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		老朽化した配水管から順次、定期的・計画的に更新した。 土木課と連携し、合併工事とすることで経費の抑制に努めた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	水道事業の全体又は施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があるため導入には至っていない。
令和5年度の見直し及び改善 (実績または予定)	老朽化している配水管から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和6年度以降の方向性	配水機能の適正な維持と漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図るため、定期的・計画的に実施していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	定期的・計画的に実施し、漏水等の事故を未然に防ぐよう努めること。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月13日作成

事業番号			担当課等		水道課						
事務事業名	浄水場整備事業										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
P96 ゆがわら2022プラン 前 期 基 本 計 画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅱ 持続可能な生活環境の構築	9 上下水道	(1) 上水道事業の推進	① 上水道の整備				
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	老朽化した浄水場等施設及び設備の更新を実施し、安全安心な水道水の安定供給を図る。								
対 象	湯河原町上水道区域の受水者								
内 容	日々の巡回及び各種点検の結果を基に、計画的に更新する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	3,506,500	3,428,000	3,616,000	
		会計年度任用職員等	1,237,932	1,270,914	1,241,678	
		人件費合計	4,744,432	4,698,914	4,857,678	
		総事業費	11,003,432	12,632,114	9,697,678	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	6,200,000	7,900,000	4,800,000	
		その他特定財源				
		一般財源	4,803,432	4,732,114	4,897,678	
		財源合計	11,003,432	12,632,114	9,697,678	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
工事箇所数		浄水場整備工事	箇所	3	2	2

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	水道法の規定により町(水道事業者)が実施するものである。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	計画的に更新することで、事故を未然に防ぐことができ、水道水の安定供給が図られている。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事故に対する未然防止と水道水の安定供給が図られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原町上水道事業給水区域全域が対象であるため、受益の機会均等である。
令和4年度までの自己評価または改善点		不具合の発生する恐れの高い設備から順次、定期的・計画的に更新した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	水道事業の全体又は施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があるため導入には至っていない。
令和5年度の見直し及び改善(実績または予定)	不具合の発生する恐れの高い設備から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和6年度以降の方向性	配水機能の適正な維持と事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図るため、定期的・計画的に実施していくとともに、安全性を高めるため新たな設備を導入する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	定期的・計画的に実施し、事故を未然に防ぐよう努めること。
---------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月13日作成

事業番号		担当課等	水道課							
事務事業名	城堀簡易水道統合事業									
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成 24 年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P96 ゆがわら2022プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅱ 持続可能な生活環境の構築	9 上下水道	(1) 上水道事業の推進	② 簡易水道組合の統合
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン				
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
	○				○
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
目的	水資源の有効活用、効率的な上水道の供給、統一的な町民サービスの提供及び水道事業経営の健全化を図るため、町営水道と組合営簡易水道事業との統合を目指す。				
対象	町営水道及び城堀簡易水道の受水者				
内容	城堀簡易水道組合との令和5年4月1日の統合に向けた協議を実施するとともに、統合後の業務に支障の無いよう各種データの移行を実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		事業費		事業費	
コスト	常勤職員	1,753,000	1,714,000		2,169,600	
	会計年度任用職員等	0	0		0	
	人件費合計	1,753,000	1,714,000		2,169,600	
	総事業費	8,479,000	9,359,000		26,919,600	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債				24,700,000	
	その他特定財源					
	一般財源	8,479,000	9,359,000		2,219,600	
	財源合計	8,479,000	9,359,000		26,919,600	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
協議回数		2箇月に1回実施	回	7	4	6
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
統合の実現				0	0	1

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町が事業を譲り受けるため、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	統合に向けた協議は進んでおり、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	統合の日を令和5年4月1日とする協定書が締結された。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		

令和4年度までの自己評価または改善点	令和4年6月に統合の日を令和5年4月1日と定めた「湯河原町上水道事業と城堀簡易水道事業との統合に関する実施協定書」を締結し、統合に向けた準備が進められた。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	一部業務について委託を行っているが、基本的には当事者間の協議により事業が進められるため
令和5年度の見直し及び改善 (実績または予定)	令和5年4月1日から吉浜上水道として管理することとなるため、町水道事業が導入している遠方監視制御装置での監視ができるように、旧城堀簡易水道施設の整備を行う。	
令和6年度以降の方向性	遠方監視に不足する機器の設置及び遠方監視制御装置への取込を令和7年度まで実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	令和7年度に事業完了予定
------	----	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--